



MARUZEN CHI
Holdings

平成27年1月期 第2四半期決算 ご説明資料

(当社第5期第2四半期 平成26年2月1日～平成26年7月31日)

平成26年9月12日

丸善CHIホールディングス株式会社



1. 当社の体制図

丸善CHIホールディングス株式会社

丸善(株)

(株)図書館流通センター

丸善書店(株)

(株)ジュンク堂書店

(株)hontoブックサービス

(株)雄松堂書店

丸善出版(株)

国内最大級の書籍コンテンツ販売グループ



2. 当第2四半期業績サマリー(連結)

- 売上は、期初予想を9億28百万円(1.1%)上回った。消費税増税の影響から店舗・ネット販売および公共図書館向け図書販売で厳しい環境であったが、図書館サポート事業、出版事業などが順調に推移した。
- 店舗・ネット販売事業では消費税増税の影響を受けたが、効率改善などにより減益を小幅にとどめた。またそれ以外の事業での売上増や原価抑制等による利益率改善が貢献し、下表のとおり、営業利益、経常利益、第2四半期純利益ともに期初予想を上回る業績となった。

◆平成26年2月1日～平成26年7月31日

(単位:百万円)

【平成27年1月期】 第2四半期(累計)	売上高	営業利益	経常利益	第2四半期 純利益
当初業績予想値 (3月14日発表)	86,500	1,360	1,290	810
実績(本日発表)	87,428	1,716	1,648	1,097
対当初業績予想 増減	928	356	358	287
対当初業績予想 比率	101.1%	126.2%	127.8%	135.5%



2. 当第2四半期業績サマリー(連結) 前年同期比

- 当第2四半期より、グループ連結対象会社が1社増となったことなどから、売上は前年同期比3%増収の、87,428百万円となった。
- 利益面では、図書館サポート事業、出版事業が順調に推移したことから、営業利益1,716百万円(対前年同期比27.8%増)、経常利益1,648百万円(同23.6%増)。第2四半期純利益は1,097百万円(同21.3%増)の増益の業績となった。

◆当第2四半期累計 前年比較

(単位:百万円)

第2四半期(累計)	売上高	営業利益	経常利益	第2四半期純利益
前年同期実績	84,889	1,343	1,333	904
当第2四半期累計実績(本日発表)	87,428	1,716	1,648	1,097
対前年同期 増減	2,539	373	315	193
対前年同期 比率	103.0%	127.8%	123.7%	121.3%



3. 当第2四半期の損益ハイライト(連結)

◆平成26年2月1日～平成26年7月31日

(単位:百万円)

連 結	売 上 高			営 業 利 益		
	当 期	前 期	対 前 比	当 期	前 期	対 前 比
文教市場販売事業	<u>32,992</u>	33,459	98.6%	<u>1,434</u>	1,374	104.4%
店舗・ネット販売事業	<u>37,187</u>	36,181	102.8%	<u>89</u>	114	78.0%
図書館サポート事業	<u>9,509</u>	8,482	112.1%	<u>1,007</u>	679	148.4%
出版事業	<u>2,428</u>	2,206	110.1%	<u>294</u>	213	137.7%
その他事業	<u>5,310</u>	4,559	116.5%	<u>148</u>	295	50.2%
消去又は全社	—	—	—	<u>△1,258</u>	△1,334	—
合 計	<u>87,428</u>	84,889	103.0%	<u>1,716</u>	1,343	127.8%



4. 主要事業 ①文教市場販売事業

(単位:百万円)

第2四半期 〔累計〕	当期	前期	対前期
売上高	32,992	33,459	98.6(%)
営業利益	1,434	1,374	104.4(%)

- ・(株)図書館流通センター
(株)TRC学校図書館サポート
TRC販社12社
- ・丸善(株)
- ・(株)雄松堂書店

- 公共図書館向けの販売事業については、今年4月からの消費税増税により、顧客の図書費予算が増税分だけ相対的に減少することとなり、やや厳しい業績となった。
- 大学向け販売事業においては、設備工事関連で前年を下回ったが、研究者向けの書籍、学術研究用外国雑誌の販売が順調に推移したこともあり、ほぼ前年並みの業績であった。
- その結果、当セグメントの業績は、売上高329億92百万円と前年比微減、営業利益はコスト削減効果もあり、14億34百万円と、前年比増益となった。

- 学術研究や教育向けの、洋書や電子書籍を含む各種出版物、情報資料の提供
- 研究者支援ソリューションの提供
- 図書館用書籍の販売、書誌データベース(TRC MARC)の作成・販売、図書装備等の提供
- 教育・研究施設、図書館などの設計・施工、大学経営コンサルティングなど各種ソリューションの提供
- 大学内売店の運営、教科書販売



4. 主要事業 ②店舗・ネット販売事業

(単位:百万円)

第2四半期 〔累計〕	当期	前期	対前期
売上高	37,187	36,181	102.8(%)
営業利益	89	114	78.0(%)

- ・丸善書店(株)
- ・(株)ジュンク堂書店
(株)ビッグウィル
- ・(株)図書館流通センター

- 消費税増税前に若干の駆け込みは見られたものの、4月以降の落ち込みが大きく、加えてその後の天候不順の影響もあり回復が鈍かった。関西圏、首都圏など、とくに大都市圏の大型店舗で前年を下回るなど厳しい状況が続いた。
- その結果、当セグメントの売上は当期より、(株)ジュンク堂書店の子会社である(株)ビッグウィルが連結対象となったことから、既存大型店の厳しさをカバーして前年から微増の371億87百万円、営業利益は店舗運営の効率化に努めたものの、89百万円と前年から減益となった。

- 全国に「MARUZEN」「JUNKUDO」及び「MARUZEN & JUNKUDO」の3ブランドによる店舗網で、和書、洋書、文具・雑貨等の販売
- ハイブリッド型総合書店「honto」とのサービス連携



4. 主要事業 ③図書館サポート事業

(単位:百万円)

第2四半期 〔累計〕	当期	前期	対前期
売上高	9,509	8,482	112.1(%)
営業利益	1,007	679	148.4(%)

- ・(株)図書館流通センター
- ・丸善(株)

- 公共図書館向けサポート事業では、指定管理者制度の管理受託館(前年同期比34館増)を中心に当期も好調に受託館を増やし、増収増益となり、グループ業績に大きく貢献している。また、大学図書館向けサポート事業についても順調に推移している。
- これらにより、当セグメント業績は売上高95億9百万円・営業利益10億7百万円と増収増益となった。

- 公共図書館、大学図書館の業務(カウンター業務、目録作成、蔵書点検等)の請負
- 指定管理者制度による図書館の運營業務
- PFIによる図書館運營業務及び人材派遣



4. 主要事業 ④出版事業

(単位:百万円)

第2四半期 〔累計〕	当期	前期	対前期
売上高	2,428	2,206	110.1(%)
営業利益	294	213	137.7(%)

- ・(株)図書館流通センター
(株)岩崎書店
- ・丸善出版(株)
丸善プラネット(株)

- 児童書分野においては、新刊84点(前年同期比15点増)を刊行するなど、売上・利益ともに順調に推移した。
- 専門書分野では、新刊79点(前年同期比20点増)を刊行し、また既刊書も順調に推移したことから、売上利益ともに前年を上回った。
- その結果、当セグメントの業績は、売上高24億28百万円・営業利益2億94百万円と増収増益となった。

《丸善出版(株)の出版事業》

『理科年表』等の理工系分野中心の専門書、事典、便覧等の刊行。及びビデオ・DVDの発売

《(株)図書館流通センター子会社 岩崎書店》

絵本・童話などの児童書、図書館向けの書籍の刊行



4. 主要事業 ⑤その他事業

(単位:百万円)

第2四半期 〔累計〕	当期	前期	対前期
売上高	5,310	4,559	116.5(%)
営業利益	148	295	50.2(%)

- ・丸善(株)
(株)第一鋼鉄工業所
(株)編集工学研究所
- ・(株)図書館流通センター
(株)図書流通
グローバルリレーションサービス(株)

- 店舗向け設備販売事業は、主要顧客である書店・中古書店の出店意欲の落ち込みが大きく、厳しい業績となった。
- 一方、PC・スマートホン・タブレット修理等の事業においては、iPhone、iPadの修理対応店舗の拡大などにより売上を伸ばした。
- これらにより、当セグメントの業績は、売上高は53億10百万円となる増収となったものの、前述の店舗向け設備販売の落ち込みが大きく、営業利益は1億48百万円となり、前年から減益となった。

- 書店、その他小売店舗向けに、企画・設計デザイン、建設工事、内装工事、店舗什器、看板、ディスプレイ等のトータルプランニング
- PC、スマートフォン、タブレットの修理、および各種周辺サービスの提供
- その他



5. 通期予想

第3四半期以降の見込みにつきましては、書籍販売市場は従来の厳しさに加え、小売市場全般に見られる消費税増税からの回復が鈍いことが当市場においても同様の傾向として見られます。

また、アルバイトを含めた従業員採用に関しても、市場一般の傾向と同じく需給関係が厳しい環境にあることなどから、売上・コスト両面で不透明感が否めない状況にあります。

これらの事由から、当平成27年1月期第2四半期業績につきましては当初予想を上回る進捗となっておりますが、同通期業績予想については、現時点では当初の予想を変更せず、見通しが明らかになった時点で速やかに開示いたします。

(単位:百万円)

【平成27年1月期通期】	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
当初業績予想値 (本年3月14日発表)	167,000	1,500	1,350	480
業績予想 (本日時点)	上記の期初予想値から変更はございません。			



6. 当第2四半期のトピックス

- 7月:総合保育サービス企業の株式会社明日香を完全子会社化。
同社の持つ総合保育サービスのノウハウを活用し、図書館運營業務と子育て支援サービスをワンストップで提供するための取り組みを開始。
- ハイブリッド型総合書店「honto」とリアル書店との共通ポイントサービスはジュンク堂書店、丸善書店で計66店舗に拡大(2014年7月時点。文教堂含むhonto提携店舗全体では106店舗)。
※サービス連携の対象店舗は順次拡大予定。

★リニューアル店舗

- JUNKUDO : 那覇店 2月 (MARUZEN文具店を新規併設)

株式会社ビッグウィルを連結の範囲に含めたため、7月末時点の店舗数は100店舗(株)ジュンク堂書店の子会社(株)ビッグウィルの店舗を含む。)

(閉店 3月:丸善関西国際空港ゲート店、5月:ジュンク堂書店岡山店)